

科目名	社会福祉援助技術 B					単位	2.0
担当教員	藤林 清仁						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	

●授業のテーマ

子ども家庭福祉臨床場面における援助技術を学ぶ

●到達目標

社会福祉援助技術の基礎知識を理解し、社会福祉援助の基礎技術を身につける。

●学習内容(授業概要)

社会福祉援助技術に関する基礎知識を基盤に、児童家庭福祉分野での応用について理解させる。ソーシャルケースワーク、グループワーク、コミュニティワーク、ケアマネジメント、事例研究について、体験的に理解する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 保育と相談援助
2. 相談援助とは何か
3. 相談援助の過程と連携
4. 相談援助を行う前に
5. 事例検討の意義と方法
6. 児童虐待への対応事例
7. 児童養護施設の事例
8. 障がい受容の事例
9. 保護者に対する保育相談支援の意義
10. 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援
11. 子どもの最善の利益と福祉の重視
12. 地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力
13. 保育に関する保護者に対する指導
14. 保護者支援の方法と技術
15. 保育所における保育相談支援の実際

●準備学習・事後学習の内容

新聞等で関連する内容を見つけたら読んでおくこと。講義終了後、テキストの関連する内容を読んでおくこと。

●成績評価方法・基準

試験 80%、レポート 20%。

●テキスト(必携)

《No.1.》書籍名：演習・保育と相談援助、著者名：佐藤伸隆 中西遍彦 前田敏雄、出版社：みらい、販

売先：Do

《No.2.》書籍名：演習保育相談支援、著者名：小林育子、出版社：萌文書林、販売先：Do

●参考文献／その他  
授業時に指示します。

●履修上の注意  
特になし。